

令和4年度 予算

予算編成の基本的な考え方

令和4年度は、新型コロナウイルスの変異株の拡大も視野に入れ、状況に応じたコロナ対策を講じるとともに、将来への投資として、今後の社会変容を見据えた新しい成長の基礎を築く施策を進めます。コロナ禍において明らかとなった課題や変化をはじめ、環境投資やデジタル化の加速といった時代の潮流を踏まえて、第6次総合計画に掲げるまちの将来像「人と自然と土が織りなす 交流文化都市」の実現に向け「支え合い安心できる暮らしづくり」、「環境と調和したにぎわいづくり」、「豊かな心と文化を育む人づくり」、「安全で快適な暮らしを支える基盤づくり」、「協働の仕組みづくり」の5つの基本目標に沿った施策を展開します。

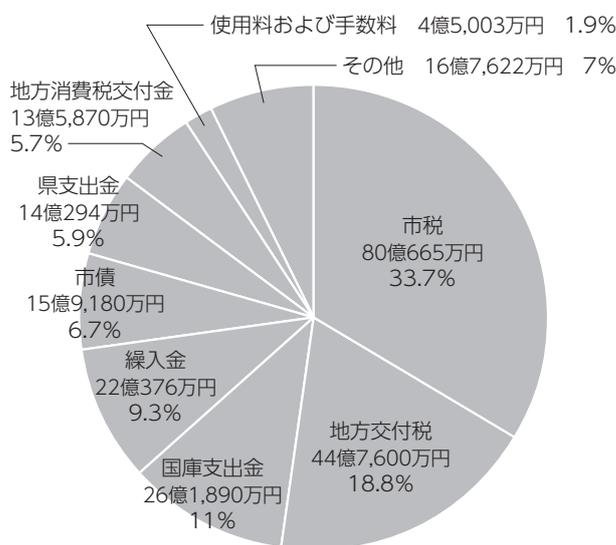
その施策にメリハリをつけるため、公約である、「愛着のもてる まちづくり」、「地域を支える ひとづくり」、「地域住民の いきがいづくり」を3本の柱とし予算を編成しました。

行政経営課(内線532)

会計別の内訳		
会計名	予算額	前年比
一般会計	237億8,500万円	2.9%
特別会計		
国民健康保険	56億627万円	△0.1%
駐車場事業	3,364万円	△31.4%
介護保険(保険事業勘定)	64億3,604万円	1.6%
介護保険(サービス事業勘定)	0円	△100%
土岐市・瑞浪市介護認定審査会	4,099万円	△2.2%
土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会	620万円	5.0%
後期高齢者医療	9億1,608万円	7.5%
計	130億3,922万円	1.1%
企業会計		
病院事業	17億1,066万円	△2.0%
水道事業	27億493万円	0.6%
下水道事業	29億8,402万円	8.2%
計	73億9,961万円	2.9%
合計	442億2,383万円	2.3%

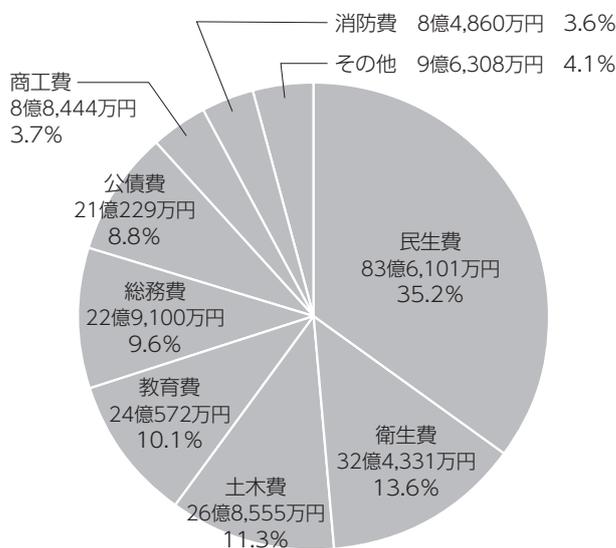
一般会計

歳入



一般会計

歳出



地域を支える ひとづくり

GIGAスクール構想におけるICT教育推進事業

「GIGAスクール構想」を受けた市内小中学校の無線LAN環境、1人1台のタブレット端末、大型提示装置などのICT環境整備に続き、教師の指導力の向上と子どもたちの学力の向上を図ります。

- ▶ デジタル教科書導入 505万円
- ▶ 学習支援ソフトなど使用料 669万円



タブレット端末を使用した授業

「読書に親しむまち 土岐市」読書推進事業

土岐市読書活動推進計画に基づき、世代別に読書に親しむ機会を提供することで「読書に親しむまち 土岐市」の実現を目指します。

- ▶ 図書館改革事業など図書館経費 4,466万円
- ▶ 学校司書支援員の増員（2人→6人） 653万円



あおぞら読み聞かせ会

土岐市多機能型子育て支援拠点事業

誰もが安心して子育てができる地域社会の創出に向けた拠点として、令和4年秋にオープン予定の（仮称）イオンモール土岐内に多機能型子育て支援拠点施設を整備します。

- ▶ 地域子育て支援拠点事業 3,260万円
- ▶ ファミリー・サポート・センター事業 422万円



子育て拠点施設（イメージ）

地域住民の いきがいづくり

全世代健康寿命延伸事業 ときげんきプロジェクト

全ての世代が健やかな生活習慣を形成し、いつまでも健康で生きがいを持って暮らせるまちを目指し「ときげんきプロジェクト」を推進します。

- ▶ ときげんき体操の普及など健康づくり事業 609万円
- ▶ 幼稚園、小・中学校の時期から望ましい食習慣を確立するためのときげんきっ子給食事業 561万円



ときげんき体操

地域医療体制の確保

誰もが必要なときに安心して質の高い医療サービスを受けられるよう地域医療体制や救急医療体制の充実を図ります。

- ▶ 東濃中部病院事務組合負担金 2億4,846万円
- ▶ 病院事業会計繰出金 10億584万円



土岐市立総合病院

まちの将来像
人と自然と土が織りなす 交流文化都市

第6次総合計画と公約に基づき、令和2年度から重点分野として位置付けている「読書に親しむまち 土岐市 読書推進事業」と「全世代健康寿命延伸事業」と「全世代健康寿命延伸事業」と「全世代健康寿命延伸事業」と「全世代健康寿命延伸事業」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しつつ、定着に向けて取り組んでまいりました。令和4年度も引き続き重点分野として位置付け、「新たな日常」にも対応しつつ、これまでの活動をさらに加速させます。

また、土岐市や美濃焼の歴史を深掘りした知の拠点として整備を進める「文化財保存活用拠点（仮称）整備事業」、地域医療提供体制を確保するための「東濃中部地域の大病院建設」に加え、子育て支援策を拡充するための「地域子育て支援拠点事業」、地域のにぎわい創出の拠点となる「レクリエーションゾーン調査設計事業」、2050年のカーボンニュートラルの達成に向けた「脱炭素化事業」、市民の利便性向上と業務の効率化のための「デジタル化推進事業」など、未来を見据えた、人と暮らし、環境に対する投資により、潤いある暮らし、愛着と誇りのもてるまちづくりを目指します。

重点事業

愛着のもてる まちづくり

観光振興事業

観光資源の掘り起こしや創出、観光客を受け入れるための環境の整備、効果的な情報発信などを実施し、市民と関係者が参画した持続発展可能な観光まちづくりを推進します。

- ▶ レクリエーションゾーン調査設計事業 1,750万円



レクリエーションゾーン（イメージ）

文化財の継承に向けた保存・活用推進事業

「豊かな文化資源を蓄え、市民とともに新たな文化を創造し、土岐市の未来をひらく」ために、「博物館基盤機能」や「にぎわい機能」「つながり機能」をもち、多様な人々を対象とした活動を行う拠点施設を整備します。

- ▶ 文化財保存活用拠点（仮称）整備事業基本計画 1,518万円



国重要文化財 志野茶碗

デジタル化推進事業

「自治体DX推進計画」と「自治体DX推進手順書」に基づき、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAIなどの活用により業務の効率化を図ります。

- ▶ デジタル・トランスフォーメーション推進事業 2,262万円



デジタル化の推進（イメージ）

脱炭素化事業

2050年のカーボンニュートラルに向け、全市的に地球温暖化対策を進めるため地域再生可能エネルギー導入目標を策定するとともに、地域の再エネ設備導入のポテンシャル調査を実施します。

- ▶ 環境政策事業 2,076万円



環境学習教室